



「令和8年内子町20歳の記念式」が1月11日、共生館で開かれました。巻頭では当日の様子を写真とともに紹介します。

ふるさとで刻む 人生の通過点

令和8年内子町20歳の記念式





未来を見つめる、決意の眼差し――

晴れやかな笑顔で迎えた節目



式の様子は、内子町公式
Instagram「うちコト」
でも紹介しています。ぜひ
チェックしてください。

uchikoto_official



今年20歳の節目を迎えたのは、平成17年4月2日～18年4月1日生まれの人125人。そのうち97人が式に参加しました。

式典では小野植正久町長が「どこにいても繋がる時代に私たちは生きている。内子町は皆さんを支えられる『ふるさと』であり続けるよう、まちづくりを進めていく」と祝辞を述べました。続いて、参加者を代表して高橋航輝さんが誓いの言葉を発表。「私たちはそれぞれの夢や目標に向かって歩む途中。現代は多様化やグローバル化が進み、情報量も多い。戸惑うこともあると思うけれど、自分の頭で考えて、物事を冷静に見極めながら人生を力強く歩んでいく」と決意を新たにしました。

他にも、内子高校郷土芸能部による祝賀演奏や、記念品の贈呈などを実施。参加者は人生で一度きりの節目を、家族や友人と喜び合っていました。

地区を代表して意見発表をした皆さん

内子しか知らないけれど、内子最高

私の住む福岡県には「地元しか知らないのに地元最高」という有名なフレーズがあります。僕は大学キャンパス周辺と内子町しか知りませんが、仲間たちとの思い出は、今でも「内子最高」と思わせてくれます。将来は最高のふるさと内子町で働きたいです。



内子地区代表
稲井奏太さん＝内子12＝

夢に向かって勉強中 誰かの力になりたい

私は看護師を目指しています。学びを通して命と向き合うことの責任や、寄り添う心の大切さを感じました。誰かの力になれる看護師を目指し、これからも歩み続けます。感謝の気持ちを忘れず、自分にできることを一つ一つ積み重ねていきたいです。



小田地区代表
二宮菜希さん＝中通り＝

挑戦できる今に感謝 支えに応える大人に

私は挑戦できる今の環境と、これまで支えてくれた人々への感謝を強く感じています。挑戦の一つ一つは、家族や先生、友人の支えがあってこそだと思います。これからは自立した立派な大人を目指して挑戦を続け、内子町の一員として歩んでいきます。



大瀬地区代表
城戸花さん＝村前＝

迷いながら前進中 内子には仲間がいる

経験を重ね、多くの人と出会い、ときに失敗をすることで自分の道が見えてくると思っています。進む道に迷ったり不安を感じたりすることもあるかもしれませんが、内子町へ帰ってくれば仲間がいます。これからそれぞれの立場で社会に貢献していきましょう。



五十崎地区代表
沼井達也さん＝東沖＝

1_みんなで「20歳」のポーズ 2_我が子の晴れ姿に、シャッターを押す手が止まらない 3、8、10、12_友人との再会 4_各中学校ごとに受け付け 5_郷土芸能部は3曲を披露。参加者の中には卒部生も 6、7_中学校の先生など、恩師もお祝いに駆け付けた 9_式典中、真っすぐに前を見つめる 11_参加者を代表して記念品を受け取った佐藤真弥さん＝大岡＝

'06年	'05年			
2月	12月	9月	5月	4月
トリノ冬季五輪開催。フィギュアスケートで荒川静香さんが金メダル獲得	33SAが販売開始	日本初のワンセグ対応携帯電話「W33SA」が販売開始	愛・地球博（愛知万博）が開幕	個人情報保護法が全面施行
		香港ディズニーランド開業	日本のプロ野球で初のセ・パ交流戦が開幕	

日本・世界の出来事

'06年	'05年
3月	7月
「内子町農村支援センター」発足式開催	旧町の観光協会が合併。新たな「内子町観光協会」が誕生

内子町の出来事

20歳になった皆さんが生まれた2005年度（平成17年度）の主な出来事



誓いの言葉を発表した
高橋航輝さん＝中町＝